

# 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	地域高規格道路「広島西道路」 一般国道2号 西広島バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局	
起終点	自：広島県広島市中区平野町 至：広島県廿日市市地御前			延長	19.4km		
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の主要都市を経由し北九州市に至る延長約680kmの主要幹線道路である。</p> <p>西広島バイパスは、広島西部方面から広島市中心部へ流入する交通を円滑に分散・導入させ、慢性的な交通渋滞の緩和を図り、広島市の都市機能を強化するとともに広域的な地域連携強化による周辺都市との一体的な発展に資することを目的として計画された延長19.4kmのバイパスである。</p>						
S40年度事業化	S46年度都市計画決定 (H6・9年度変更)		S42年度用地着手		S42年度工事着手		
全体事業費	約1,020億円		事業進捗率	59%		供用済延長	17.1km
計画交通量	13,300台/日～80,700台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 5.6 (残事業) 1.8	総費用 (残事業)/事業全体 303/3,276億円 事業費 : 292/3,094億円 維持管理費 : 11/182億円	総便益 (残事業)/事業全体 545/18,300億円 走行時間短縮便益 : 383/14,953億円 走行経費減少便益 : 101/2,156億円 交通事故減少便益 : 62/1,190億円	基準年 平成20年			
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動 : B/C= 2.0 (交通量+10%)      B/C= 1.6 (交通量-10%)</p> <p>事業費変動 : B/C= 1.6 (事業費+10%)      B/C= 2.0 (事業費-10%)</p>						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>混雑時旅行速度の改善（中区竹屋町、西区観音本町）</li> <li>日常活動圏中心都市へのアクセス向上（西側から広島市へのアクセス向上）</li> </ul> <p>他16項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見	<p>西広島バイパスは、広島都市圏の中心部分に集中する交通を円滑に処理することが期待されており、広島市をはじめとする関係3市及び2商工会議所で構成される国道2号西広島バイパス高架建設促進期成同盟会より早期完成の要望を受けている。</p>						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>西広島バイパス沿線地域である広島市西区、佐伯区、廿日市市では、西広島バイパスや山陽自動車道の供用、多数の住宅団地整備などにより急速な発展をとげており、これに伴う自動車交通の増加が、広島市都心流入部において、慢性的な交通混雑を引き起こしている。</p>						
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成19年度末で、用地買収は概成しており、現在までに17.1kmを供用済み。</p>						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、残る区間についても早期供用を目指し、事業を推進する。</p>						
施設の構造や工法の変更等	<p>橋梁上部工において耐候性鋼材を採用することなど、新工法の導入等によりコスト縮減を図っている。</p>						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図							

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。